

令和7年度 事業報告書（敬愛園）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

I 総括

令和7年度は、各事業所が年間通じて高稼働を維持すると共に、介護現場の生産性向上による職場環境の改善を図る介護DX介護支援補助金や保育事業の公定価格のプラス改定、物価高騰対策支援の補助金等により収入面は大幅増となり、業績V字回復を成し遂げました。

支出面では、人件費・経費等の高騰により、経営状況はさらに厳しさを増していますが新電力会社の活用や適正な人件費コントロールを行い、事業の継続性を高めていきました。しかしながら不採算事業所となっているケアスタ福岡（小規模多機能型居宅介護、グループホーム、デイサービス）は収支の健全化には至らず撤退を検討せざるを得ない状況になりました。

アットホーム博多の森では、科学的介護を基盤とした他職種連携強化、サービスの質の向上を行い稼働率の維持向上を図りました。今後は医療機関からの退院支援に対応し安定的なロングショート稼働の実現化を目指します。デイサービスは、目標稼働未達となりましたが稼働改善の行動を打ち出し実践していきます。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、94.2%（前年比0.2%減）。デイサービスの稼働率は、61.7%（前年比3.7%減）となりました。

アットホーム諸岡では、「稼働率のV字回復」を目標に掲げ、施設全体の更なる改善に取り組みました。デイサービスは、小規模特性を活かした個別ケアや余暇活動の充実等を実施しました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は96.5%（前年比2.3%増）、デイサービスの稼働率は、85.3%（前年比6.3%増）となりました。

アットホーム板付は、開設2年目を迎え、サービスの質の向上を目的として本体施設と連携しながら委員会活動や内部研修を実施しました。グループホームでは、入居者と野菜の栽培や調理など共同生活介護の特性を活かした取り組みを行いました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は97.1%（前年比10.1%増）、グループホームの稼働率は、98.0%（前年比13.2%増）となりました。

アットホーム福岡では、サービスの質の向上を図ると共に入居者家族との意見交換会や食事の試食会を行いました。介護DX補助金を活用した見守り支援機器のAAMSの全床導入を行い、リアルタイムでのバイタル管理など、より安全・安心なケア環境を作りました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、96.7%（前年比0.3%減）。サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、97.2%（前年比0.9%減）。ケアセンター県庁口の年間請求件数は、1,722件（前年比254件増）。けいあい保育園の稼働率は、78.9%（前年5.7%減）となりました。

ケアスタ福岡では、稼働率の向上、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を行いました。地域交流の他、地域の相談窓口として相談者に合わせた入居案内を行い、法人全体に貢献しました。グループホームの稼働率は、90.0%（前年比4.5%減）。千代パピヨンデイサービスセンターの稼働率は、69.4%（前年比4.3%増）。小規模多機能型居宅介護の稼働率は、93.9%（前年比8.6%増）。サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、96.9%（前年比1.4%増）となりました。

福岡介護福祉専門学校では、本校の特徴である実践教育、敬愛園式介護教育法について、介護現場と連携して取り組みました。また、国家試験合格に向けて、国家試験対策を1年次より取り組むこととしました。令和8年度の入学生については、40名が入学することとなりました。

照葉けいあい保育園では、「子どもたちの健やかな成長を願い、一人ひとりのありのままの姿を尊重し、安心して失敗できる毎日を保障する」とし「子ども主体の保育」を目指し取り組み、保育者同士が共通理解をすることに力を注ぎました。園児数は、親の転勤や転居などで増減はありましたが、常に定員以上は維持し、令和8年3月時点での定員充足率は、107.7%となりました。

照葉けいあいホームでは、在宅診療・訪問看護事業所と連携により、看取りや入居者の状態に応じた介護を徹底することができました。ただし、空室が目立ち稼働を大きく落とす結果となりました。グループホームの稼働率は、89.4%（前年比9.1%減）となりました。

法人全体の事業活動によるサービス活動収益は、29億2,083万円（前年比1億8,405万円増）。人件費は、18億197万円（前年比4,897万円増）。経費は、8億1,867万円（前年比3,234万円増）となりました。事業の収益性を表す経常増減差額は、1億1,209万円（前年比8,859万円増）。法人の収益性を分析する指標である経常増減差額比率は、3.8%（前年比2.9%増）となりました。

Ⅱ 各事業所の運営状況

法人本部・在宅支援課

1. 経営基盤の確立及び施設整備

法人の適正な事業運営のため、各拠点の会計責任者（施設長）が出席する定例会を週一で開催しました。定例会では、施設運営・収支状況に関する情報を共有し、適正な予算執行に努めました。在宅支援課では、各サービス部門（グループホーム、小規模多機能型居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、居宅介護支援事業所）の強化を図りました。

2. 人材の確保・育成及び処遇改善

適正人員プロジェクトにより、適正な人員配置を原則とし、業務の効率性及び職員の意識改革を図りながら、派遣職員の活用を控える等、人件費の調整を行いました。

新卒職員の採用については、ホームページの活用、ハローワーク求人・パコラ等の広告求人充実させました。また、介護福祉士養成校との連携、職員寮の案内、奨学金制度や介護実習の受け入れを行いました。

【正職員の採用・退職等の状況】

事業所名	前年度末の正職員	採用者数			退職者数		人事異動		今年度末の正職員
		介護職員 保育士	その他 職種	(うち新卒)	介護職員 保育士	その他 職種	転入	転出	
アットホーム博多の森	67	6	2	(2)	10	3	3	5	60
アットホーム諸岡	55	4		(2)	5	2	1	2	51
アットホーム板付	26	3		(2)	3		1	1	26
アットホーム福岡	64	7		(5)	7	3	4	4	61
けいあい保育園	7	1			1				7
ケアスタ福岡	43	4	1		3		2	2	45
照葉けいあい保育園	27	2			4	2		1	22
照葉けいあいホーム	12	1			1		2	1	13
法人本部(出向含む)	5						3		8
合計	306	28	3	(11)	34	10	16	16	293

3. 福利厚生等の充実

職員互助会については、懇親会（ホテルニューオータニ・出席者307名）やバーベキュー、バスハイク等のイベントを開催しました。

また、コロナ禍により実施できていなかった宿泊旅行を再開し、韓国ソウル、東京ディズニーリゾート、長崎軍艦島の3コース手配し、参加者は総勢54名でした。

その他、ソフトバンクホークスの観戦ペアチケット・映画鑑賞券の配付、慶弔祝い金の支給等を行い、福利厚生等の充実を図りました。

また、年に1度、職員の心理的な負担を把握するため、労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを行い、衛生委員会と協力して職員のメンタルヘルス（精神面における健康）に努めました。

アットホーム博多の森

1. 運営実績報告

令和7年度も稼働率改善に取り組む中、年度末の多数の退居・入院に伴う稼働低下の影響を受け、前年度稼働率を上回ることができませんでしたが、特養については稼働目標の96%を上回ることができました。ロングショートを中心とした稼働運営の戦略が功を奏し、今後の安定的な稼働の基盤構築を進めることができています。ショートステイは目標の80%に届きませんでしたが、特養入居者の安定的供給という目的は果たすことができています。今後は医療機関からの退院支援に対応し、安定的なロングショート稼働を実現する必要があります。そのため医療的管理度の高い利用者様の受け入れについて積極的な取り組みを行ってまいります。

デイサービスは61.7%と目標未達となりました。安定的な事業所運営を目指し、次年度は明確な稼働改善の行動を打ち出し実践していきます。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和5年度	令和6年度	令和7年度
特別養護老人ホーム	99名	98.6%	98.5%	98.2%
ショートステイ	27名	74.6%	79.2%	79.7%
入居全体	126名	93.5%	94.4%	94.2%
デイサービス	18名	65.9%	65.4%	61.7%

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
延べ入居者数		27名	25名	26名
延べ退居者数		25名	26名	31名
延べ入院日数		481日	532日	464日
平均介護度		3.56	3.41	3.39
割合	介護度1	3.5%	8.1%	7.5%
	介護度2	11.8%	12.1%	15.1%
	介護度3	31.8%	30.7%	26.2%
	介護度4	30.8%	28.7%	32.9%
	介護度5	22.2%	20.5%	18.3%

2. 安全衛生管理状況

感染症について、インフルエンザ、コロナウイルス感染はないものの、疥癬による感染拡大があり、昨年度に迫る発生件数となりました。感染が拡大しないための予防的対応および衛生管理の再徹底を図ります。また、転倒事故の増加に対しては、生活場面における転倒リスクの予見に基づき、多職種協働で予防対策を講じていきます。

【行政への事故報告件数】

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度
転倒・転落・接触	4件	7件	9件
誤薬・誤嚥・異食	1件	2件	6件
打撲・皮膚剥離	0件	1件	0件
食中毒・感染症	5件	26件	22件
その他	1件	2件	2件
合計	11件	38件	39件

3. 職員研修

令和7年度、計画通り研修を実施することができました。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	ノーリフティングケア	10名	10月	喀痰吸引 感染症	10名 21名
	誤嚥性肺炎ゼロ	10名			
	感染対応/BCP 机上訓練	15名			
	科学的介護	11名			
5月	動き出しは本人から	11名	11月	褥瘡防止	10名
	ケアプラン	10名			
	心肺蘇生/救急救命	12名			
	身体拘束/権利擁護	13名			
6月	接遇	11名	12月	感染対応訓練 権利擁護	17名 12名
	災害/火災	9名			
	食中毒防止	10名			
7月	ノーリフティングケア	8名	1月	災害訓練/BCP 机上訓練 ハラスメント	12名 11名
	看取り	12名			
8月	緊急を要する症状と観察点	10名	2月	日勤帯急変時対応 高齢者虐待防止	13名 10名
	リスクマネジメント	13名			
	夜間帯急変時の対応	10名			
9月	高齢者虐待防止	10名	3月	リスクマネジメント	10名
	糖尿病	6名			

※全職員対象資料配布

※高齢者虐待/身体拘束 全職員対象、各部署会議にて伝達研修実施

4. 行事報告

令和7年度はユニットによる行事企画、栄養課による食を楽しむ企画、医務室による定期的な外出企画等を実施しました。ご利用者様にとって充実した時間となるよう多種多様な行事企画を行い、沢山の笑顔をいただきました。令和7年度後半から介護美容サービスを導入し、メイク（フェイストリートメント）をして外出するといった新たな取り組みを実施しています。

【主な行事】

	行事名
春	花見（花見弁当） こどもの日（寿司） 外出企画（カフェ）
夏	ソフトクリーム かき氷 スイカ割り 買い物支援（イオンモール）
秋	敬老会 秋祭り 干し柿 外出企画（本屋）高齢者作品展
冬	クリスマス会 餅つき 外出企画（喫茶店）書初め ひな祭り コメディ鑑賞（ドリフターズ）
通年	ユニット企画、（たこ焼き、梅ジュース作り等）音楽療法（月1回）、よさこい（年2回）、介護美容（月1回）

5. 地域活動

令和7年度も、アットホーム博多の森として地域とのつながりを大切にしながら、地域行事への参加や地域住民との交流、福祉的支援活動に取り組みました。

町内会行事や地域の催しには、開催状況に応じて可能な範囲で参加し、地域との関係維持に努めました。また、近隣事業所や関係機関と連携し、地域高齢者を対象とした健康づくりや介護予防に資する取り組みに参画しました。福岡市の社会参加活動促進事業においては、利用者が地域の中で役割を持ちながら活動できる機会づくりを進め、多世代交流や地域理解の促進にも努めました。加えて、地域防災に関する取り組みにも協力し、消防団活動への参加を通して地域の安全確保に資する活動を行いました。これらの活動を通して、地域福祉の推進及び地域貢献に努めました。今後も地域に開かれた施設として、継続的な地域交流と地域貢献に取り組んでまいります。

アットホーム諸岡

1. 運営実績報告

令和6年度においては、特養及びショートステイの合算稼働率が目標に対し1.1%未達となりました。これを踏まえ、令和7年度は重点取組事項として「稼働率のV字回復」を掲げ、改善に取り組みました。その結果、特養は目標稼働率比+0.3%、ショートステイは+8.2%と改善し、合算では目標を+1.2%上回る稼働率を達成しました。

また、施設全体としては「介護の質の向上」を目標に、離職対策や人材確保、科学的介護の推進、感染及び災害対策、業務の効率化に取り組み、一定の成果がみられました。一方で、アットホーム板付との一体的運営体制の整備については、現在も構築途上であり、引き続きの課題として残っています。

デイサービスにおいては、小規模特性を活かした個別ケアや、余暇活動の充実に加え、家族への写真・手紙の送付、居宅介護支援事業所への利用状況報告等を継続的に実施しました。これにより、一定の利用者満足を維持できたものと評価しています。稼働率については、目標値を85.0%と高く設定した中で、実績はこれを0.3%上回り、目標を達成しました。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和5年度	令和6年度	令和7年度
特別養護老人ホーム	80名	95.8%	94.7%	96.3%
ショートステイ	10名	100.1%	90.4%	98.2%
入居全体	90名	96.3%	94.2%	96.5%
デイサービス	10名	87.6%	79.0%	85.2%

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
延べ入居者数		21名	32名	21名
延べ退居者数		22名	31名	22名
延べ入院日数		827日	727日	851日
平均介護度		3.78	3.66	3.67
割合	介護度1	1.3%	1.6%	1.3%
	介護度2	8.8%	9.7%	11.5%
	介護度3	29.3%	33.9%	32.1%
	介護度4	32.0%	31.4%	25.6%
	介護度5	28.6%	23.5%	29.5%

2. 安全衛生管理状況

安安全対策委員会を月に1回実施し、事故事例の共有・検証・対策検討・実施・評価を行いました。安全対策委員が中心となり、リスクマネジメントの内部研修も年2回実施しました。これらの取り組みを通して、施設内全体に事故予防の意識継続と対策検討力の向上を図りました。課題として、行政への事故報告件数が増加したため、引き続き事故を回避・予防するための分析を行い発生の減少に努めていきます。

【行政への事故報告件数】

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度
転倒・転落・接触	4件	3件	7件
誤薬・誤嚥・異食	9件	12件	17件
打撲・皮膚剥離	1件	0件	2件
食中毒・感染症	11件	2件	3件
その他	0件	0件	0件
合計	25件	17件	29件

3. 職員研修

各委員会活動の目標設定の1つに、内部研修の準備・実施を導入し、目標設定を明確にした上での活発な委員会活動に結びました。その成果もあり、どの内部研修の内容も質の高い内容となっていました。また、当日内部研修に参加できないスタッフに対しても、資料・データの回覧を実施して、研修内容の共有・把握に努めました。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	個人情報保護・権利擁護 災害時BCP	61名	10月	生産性向上	58名
5月	急変時対応	61名	11月	感染症BCP 災害時BCP	58名 58名
6月	認知症 拘束・虐待・権利擁護	61名 61名	12月	ハラスメント・ストレス	57名
7月	食中毒 感染症BCP	59名 59名	1月	リスクマネジメント 感染症対策・対応	56名
8月	リスクマネジメント	59名	2月	拘束・虐待・権利擁護	56名
9月	拘束・虐待・権利擁護	58名	3月	看取り	54名

4. 行事報告

入居者の生活に潤いをもたらすことを目的に、創意工夫を凝らしながら行事や余暇活動、外出などを企画・実践しました。行事通じて、普段は見られないような入居者の表情や反応がみられることも多く、それがスタッフにとっても大きな遣り甲斐となっています。

【主な行事】

	行事名
春	どら焼き作り、スターバックス外出、花見散歩、東平尾公園花見、博多ポートタワー見学、ホワイトデーチョコレート作り、ららぽーと買い物、いちご狩り、太宰府天満宮、駕与丁公園、五十川公園、春日公園、誕生日会
夏	水ようかん作り、土用丑の日（うなぎひつまぶし風）、各ユニット夏祭り、志賀島、資さんうどん外食、すいか割り、ららぽーと福岡買い物、山笠見学、精進料理、パフェ作り、七夕デザート作り、中之島公園、花火大会、誕生日会
秋	敬老会、誕生日会、ドライブ（花・景色見学）、精華女子大学文化祭、元気はつらつ体操、コスモス・菊見学、紅葉見学、ハロウィン行事食、ハロウィンパーティー、花火大会、かき氷イベント、綿菓子作り、誕生日会
冬	太宰府天満宮、クリスマス会、忘年会、新年祝賀挨拶（おせち料理）、宇美八幡宮初詣、新年会、ぜんざい作り、節分（ちらし寿司）、誕生日会、ひな祭り（イベント食）、ドライブ、バレンタインチョコレート作り、焼き芋会
通年	フラワーアレンジメント（毎月2回） 音楽療法（月2回） 傾聴ボランティア（月1回）

5. 地域活動

- ・地域清掃 週1回 毎週火曜日 10時30分から実施。
- ・傾聴ボランティアうぐいす（1回/月）
- ・地域ボランティア来設（1回/月）
- ・外部講師派遣（認サポ・キッズサポーター講師活動）
- ・地域子供神輿見学（地域夏祭り）
- ・地域防災訓練

アットホーム板付

1. 運営実績報告

令和6年8月に開設後、2年目を迎え、サービスの質の向上を目的として、本体施設と連携しながら委員会活動や内部研修を実施し、業務体制の整備を進めました。その結果、特養は目標稼働率比+3.0%、ショートステイは+14.2%、合算では目標を6.1%と大きく上回る稼働率を達成しました。

グループホームにおいては、敷地内の畑を活用し、入居者と共に野菜の栽培や調理を行うなど、共同生活介護の特性を活かした取り組みを行いました。稼働率については、目標値を94.4%と高く設定した中で、実績はこれを2.0%上回り、目標を達成しました。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和6年度	令和7年度
特別養護老人ホーム	29名	92.0%	99.0%
ショートステイ	11名	74.0%	94.2%
入居全体	40名	87.0%	97.7%
グループホーム	9名	84.8%	96.4%

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目		令和6年度	令和7年度
延べ入居者数		37名	3名
延べ退居者数		8名	4名
延べ入院日数		192日	75日
平均介護度		3.12	3.23
割合	介護度1	9.3%	6.9%
	介護度2	12.9%	6.9%
	介護度3	38.3%	51.7%
	介護度4	34.9%	24.2%
	介護度5	4.5%	10.3%

2. 安全衛生管理状況

安全対策委員会を月に1回実施し、事故事例の共有・検証・対策検討・実施・評価を行いました。安全対策委員が中心となり、リスクマネジメントの内部研修も年2回実施しました。これらの取り組みを通して、施設内全体に事故予防の意識継続と対策検討力の向上を図りました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和6年度	令和7年度
転倒・転落・接触	6件	4件
誤薬・誤嚥・異食	6件	6件
打撲・皮膚剥離	0件	1件
食中毒・感染症	2件	0件
その他	1件	2件
合計	15件	13件

3. 職員研修

基本的な知識や技術の習得・復習、サービスの質の向上を目的として、これまでのノウハウを共有しつつ新たなアイデアを導入し、研修内容の充実を図り、本体施設であるアットホーム諸岡と、一体的に職員研修を行いました。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	個人情報保護・権利擁護 災害時 BCP	27名 34名	10月	生産性向上	27名
5月	急変時対応	26名	11月	感染症 BCP 災害時 BCP	29名 23名
6月	認知症 拘束・虐待・権利擁護	28名 28名	12月	ハラスメント・ストレス	26名
7月	食中毒 感染症 BCP	24名 27名	1月	リスクマネジメント 感染症対策・対応	27名 31名
8月	リスクマネジメント	27名	2月	拘束・虐待・権利擁護	27名
9月	拘束・虐待・権利擁護	27名	3月	看取り	27名

4. 行事報告

季節を感じられるイベントを中心に、地域との交流を意識した企画などを新たに実施し、入居者様・家族様からも大変ご好評をいただいております。

【主な行事】

	行事名
春	花見、ドライブ、外食、土用丑の日、誕生日会 ケアビューティー
夏	買い物、ドライブ、アットホーム板付開設記念祭、そうめん流し ケアビューティー
秋	敬老祝賀会、誕生日会、ドライブ、ピクニック
冬	博多座見学、クリスマス会(デザートビュッフェ)、新年祝賀会餅つき、カラオケ大会、節分、ひな祭り(イベント食) 買い物、ケーキ作り、家族集合写真
通年	フラワーアレンジメント(月2回) 音楽療法(月1回) 傾聴ボランティア(月1回) 夢カフェ(月1回)

5. 地域貢献活動

- ・ 地域防災訓練参加
- ・ 地域老人ダーツの会に地域交流ルームを週1回開放
- ・ 敷地内畑で収穫した野菜を「地域こども食堂」へ寄付

アットホーム福岡

1. 運営実績報告

令和7年度の特養・ショートステイの合算稼働率は96.7%となり、2年連続で目標稼働率を越える数字を記録しました。特にショートステイは多職種で協力して受け入れ態勢をつくり、緊急事案や虐待事案も積極的に受け入れることで、地域や居宅事業所からの信頼を得たこと大きな要因でした。家族様と施設との交流の機会としては、家族会を6月に実施し実際に提供している食事の試食会や、看取りに関する意見交換をさせていただきました。

1月には見守り支援機器のAAMSの全床導入を行い、リアルタイムでの利用者様のバイタル管理を行うなど、より安全・安心なケア環境を作るための取り組みを進めてまいりました。さらなる機器の有効活用、生産性の向上を目指し利用者様と向き合う時間を作る為の一步となる1年でした。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和5年度	令和6年度	令和7年度
特別養護老人ホーム	100名	95.4%	96.4%	95.7%
ショートステイ	18名	98.4%	100.2%	102.3%
入居全体	118名	95.8%	97.0%	96.7%
サービス付き高齢者向け住宅	35名	96.2%	98.1%	97.2%
居宅介護支援事業所(件数)		1,137件	1,468件	1,722件

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
延べ入居者数	25名	28名	26名	
延べ退居者数	26名	25名	30名	
延べ入院日数	979日	803日	1,048日	
平均介護度	3.48	3.54	3.73	
割合	介護度1	6.1%	4.6%	2.6%
	介護度2	13.1%	13.1%	7.3%
	介護度3	31.7%	29.2%	29.3%
	介護度4	24.9%	29.6%	36.5%
	介護度5	24.3%	23.4%	24.3%

2. 安全衛生管理状況

昨年度同様、職員の職場環境改善に向け、ユニット内外での協力体制の構築に努めました。

ICT化推進では、福岡県の補助金を活用しWi-Fi環境を整備し、今年度は見守り機器「アームス」とiPhoneを導入しました。これにより利用者様の状態を可視化し、巡視の在り方など環境改善につなげました。並行して生産性向上委員会の活動も継続し、業務改善に取り組みました。

次年度もICT活用を進め、生産性向上を図ります。感染症については今年度、職員のインフルエンザが数名にとどまり、利用者様への感染はなく、コロナウイルス感染も0名でした。今後も予防対策を継続します。事故については骨折が複数発生し、前年度同様の傾向が見られました。都度振り返りを行い、介助方法の見直しと再発防止に取り組みました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度
転倒・転落・接触	3件	2件	4件
誤薬・誤嚥・異食	3件	3件	2件
打撲・皮膚剥離	0件	0件	0件
食中毒・感染症	0件	45件	0件
その他	5件	7件	6件
合計	11件	57件	12件

3. 職員研修

サービスの質向上に向け、人材育成を重要課題と位置づけ、研修を4分野に区分し、年間計画に基づき実施しました。全体研修はオンライン形式を活用し、職員間の理解の共有を図りました。

今年度は、不適切ケアによる身体拘束疑いおよび虐待疑い事案について行政へ報告し、虐待該当との判断を受けました。これを踏まえ、前年度と同様に必要な指導・対応を受けるとともに、6月に臨時職員会議および臨時研修を実施し、原因分析と再発防止策の周知徹底を図りました。また、前年度に引き続き、感染症および非常災害発生時における業務継続計画（BCP）に関する研修・訓練を実施しました。発生を想定した訓練を通して、実際の行動につなげる意識の向上が図られており、今後もより実践的な内容となるよう継続して見直しを行ってまいります。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	倫理及び法令順守 褥瘡予防研修	52名 53名	10月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止	53名
5月	感染症・食中毒予防及び蔓延防止	53名	11月	褥瘡予防	53名
6月	身体拘束の排除・高齢者虐待防止	52名	12月	事故発生又は再発防止	53名
7月	事故発生又は再発防止虐待防止研修	52名	1月	緊急時の対応 y	50名
8月	介護現場で気をつけたいプライバシー保護	53名	2月	ハラスメントに関する研修	49名
9月	身体拘束の排除・高齢者虐待防止	52名	3月	業務継続計画(BCP)自然災害 業務継続計画(BCP)感染症	47名 50名

4. 行事報告

行事としては、外出レクや食事レクなど、ご入居者の楽しみを第一に考え、安全に配慮し社会性が保たれるよう取り組みました。合同誕生会ではご家族もお呼びし、家庭的な楽しい時間を過ごしていただきました。ご入居者の「願いごと叶え」は、担当職員がご本人の願いを伺い、企画し実施することで、信頼関係の構築や職員のやりがいにも繋がりました。地域交流夏祭りでは、ご家族や地域の方も参加され、ご入居者の笑顔も多く、地域に根差した有意義な時間となりました。

【主な行事】

	行事名
春	福岡動植物園外出 スウィーツビュッフェ
夏	野球観戦 地域交流夏祭り 訪問デパート アニマルセラピー
秋	野球観戦 敬老祝賀会
冬	もちつき 鏡開き 博多おどり見物
通年	合同誕生会 ユニット行事 個人の願いごと叶え

5. 地域貢献活動

令和7年度は博多第1圏域圏域を中心とした「おいさ博多」という地域ネットワークの事務局として運営にかかわり、2ヶ月に1回の定例会を開催し、地域支援として千代の「まちの保健室」・御供所の「ごくごくカフェ」の支援、その他各地域の会議や研修に参加し、地域交流を図りました。その他、福岡市主催の公民館や小学校でのユマニチュード講座や認知症サポーター養成講座を実施しました。また、千代校区の行事として、地域の清掃活動、山笠やふれあいフェスタ千代への参加を通じて、地域の方々との交流を図ることができました。

けいあい保育園

1. 運営実績報告

今年度は保育者の質を向上、子どもに寄り添う心、稼働率を上げるなどを目標として業務に取り組みました。研修参加、保護者とのコミュニケーション、子どもへの愛着ある保育ができているか、共有し職員が同じ方向に取り組んでいくことができ始めている。今後も、職員が責任をもち行動できるように、職員のコミュニケーションをとり、稼働率を上げていきたいと思えます。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小規模保育園	19名	69.3%	84.6%	78.9%

2. 職員研修

保育士の専門性を高め、キャリアアップなどの研修を実施しました。子どもの気持ちに寄り添える愛される保育者育成を今後も取り組んでいきます。

【主な研修】

	研修名	参加数
4月	人権	2名
5月	巡回支援、保健衛生研修会、子どもの口の発達と歯	4名
6月	人権保育研修会、救急講習、保育園ソーシャルワーカー	3名
7月	障がい、救急、医療配慮、	3名
8月	保育施設における不適切保育、保育研修	4名
9月	要保護児童支援地域協議会、キャリアアップ幼児教育	6名
10月	キャリアアップ幼児教育、衛生・安全、保護者支援等	6名
11月	健康・安全研修会	3名
12月	キャリアアップ乳幼児保育、保育研修会②等	1名
1月	人権研修	2名

3. 行事報告

発表会では年齢ごとに実施。一人ひとりの声を活かして、保護者に子どもたちの成長を褒めていただいた。行事を通して職員、保護者、園児、成長していきたいと考えております。

【主な行事】

	行事名
春	入園式・進級式 健康診断 鯉のぼりの会 母の日会
夏	歯科検診 プール開き 七夕会 園内夏祭り 食育会
秋	敬老の会 お別れ会（発表会） 秋の会 健康診断
冬	正月の会 豆まき ひな祭りの会 バレンタイン会 卒園式
通年	身体測定 避難訓練 誕生日会 4園研修 交流会

ケアスタ福岡

1. 運営実績報告

本来の事業所運営の軸となる地域交流を行いながら、稼働率の向上、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を職員全体で取り組みましたが、令和7年度は空室が続き稼働を落とすことになりました。地域の支えとなるよう、地域の相談窓口として、相談者に合わせた入居案内、実利用者の状況に合わせ特養・サ高住への案内など、法人貢献を行いました。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和5年度	令和6年度	令和7年度
デイサービス	45名	67.0%	65.1%	69.4%
グループホーム	18名	92.3%	94.5%	90.0%
小規模多機能型居宅介護	29名	88.2%	85.3%	93.9%
サービス付き高齢者向け住宅	11名	85.3%	95.5%	96.9%

2. 安全衛生管理状況

インフルエンザの罹患による状態悪化や転倒骨折による入院などが目立ちました。

リスクマネジメント委員会や感染予防対策委員会において、事故の検証、感染症に対する予防対策などを徹底していますが、今年度は事故件数が増えました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度
転倒・転落・接触	4件	7件	5件
誤薬・誤嚥・異食	2件	0件	3件
打撲・皮膚剥離	3件	0件	1件
食中毒・感染症	0件	0件	4件
その他	0件	0件	0件
合計	9件	7件	13件

3. 職員研修

介護の質の向上を念頭におき、外部研修への積極的な参加、ケアスタ福岡を中心に在宅サービス事業所にて委員会を行い、各事業所内会議にて資料を基に内部研修を行いました。また、浸水地域であることから、災害訓練を実施しました。

【主な内部研修】

	研修名		研修名
4月	急変時の対応について	10月	感染症予防・まん延防止について
5月	プライバシーの保護について	11月	身体拘束排除
6月	感染症について	12月	業務継続計画（BCP）について
7月	コンプライアンス、法令順守について	1月	ハラスメントについて
8月	入浴介助について	2月	高齢者虐待防止について
9月	認知症について	3月	権利擁護研修について

4. 行事報告

季節行事、食事イベントの充実と様々な外出イベントへの参加を行いました。

【主な行事】

	行事名
春	節分、ひな祭り、花見・糸島ドライブ、千代どんたく
夏	山笠見学、そうめん流し、土用の丑の日、夏祭り
秋	敬老会はサービスごと開催
冬	忘年会、クリスマス会、餅つき大会、初詣、鏡開き、書初め
通年	小規模な誕生日会を実施、外出企画

5. 地域貢献活動

地域清掃等の地域交流においては、利用者と共に参加、山笠への職員派遣、事業所の開放、法人が事務局を行っている「おいさ博多」（博多第一圏域事業所）において実施している「まちの保健室」へ積極的に参加しています。

福岡介護福祉専門学校

1. 運営実績報告

本校の特徴である実践教育、敬愛園式介護教育法について、介護現場と連携して取り組みました。国家試験合格に向けて、国家試験対策を1年次より取り組むこととしました。学生募集は、留学生の受験者が増加したことで、令和8年度の入学者は40名になりました。

【学生募集活動の状況】

項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
オープンキャンパス参加者数		337名	241名	416名
入学試験	受験者	154名	104名	173名
	合格者	40名	37名	41名
	入学辞退等	0名	0名	1名
次年度入学者		40名	37名	40名
うち留学生		27名	31名	30名

【令和7年度の学生数及び定員充足率等】

項目	全体 (80名)	内 訳		
		2年生 (40名)	1年生 (40名)	
令和7年4月現在の学生数	76名	38名	38名	
うち留学生	58名	27名	31名	
定員充足率	95%	95%	95%	
学生数に対する留学生の割合	76%	71%	82%	
学生の動向	退学	2名	0名	2名
	休学	0名	0名	0名
	留年	0名	0名	0名
	進級	36名	—	36名
	卒業	38名	38名	—

2. 奨学会（奨学金制度）

令和7年度は、学生59名（うち1年生32名、2年生27名）が認定されました。2年生については、令和8年4月に奨学会会員施設に就職し、債権譲渡契約を締結しております。

令和6年度までの卒業生についても、各施設を訪問してフォローアップ面接を行い、会員施設との情報交換を行っております。会員法人からの更なる信頼醸成と、奨学会加入に対する価値向上に努め、安定運営に繋げていきます。

【奨学会奨学金貸与額（一人当たり）】

入学準備金	150,000円
月額	35,000円
奨学金合計（2年間）	990,000円

照葉けいあい保育園

1. 運営実績報告

本園の保育の願いは「子どもたちの健やかな成長を願い、一人ひとりのありのままの姿を尊重し、安心して失敗できる毎日を保障する」とし「子ども主体の保育」を目指し取り組み、保育者同士が共通理解をすることに力を注ぎました。園の周りの地域環境も職員同士で情報交換をしながら年齢にあった場所や体験ができるよう計画をして保育の中に取り入れました。園外に出ているいろいろな事を体験することで工夫したり友達同士の話し合いが出来たり、してみたいに挑戦する姿が見られたことが子どもたちと保育士の成果です。園児数は親の転勤や転居などで令和8年に入り増減が見られました。

【園児数】

クラス	年齢	定員	令和7年 4月時点	令和8年 3月時点	定員充足率
たんぽぽ組	0歳	15名	10名	13名	86.7%
すみれ組	1歳	20名	24名	24名	120.0%
れんげ組	2歳	20名	26名	25名	125.0%
ゆり組	3歳	25名	26名	26名	104.0%
ひまわり組	4歳	25名	25名	25名	100.0%
さくら組	5歳	25名	28名	27名	108.0%
合計		130名	139名	140名	107.7%

2. 行事報告

開園して4年が過ぎ、職員・園児たちも園舎の利用の仕方など体験しながら保育の内容もリズム遊び・運動遊びも園庭、ホール・廊下などうまく利用しながらその都度話し合い、解決方法を見出しています。行事は、夏野菜を育てたり収穫したものでクッキングをしたりして異年齢児との交流もスムーズになり卒園生が出来たことでお店屋さんなどに招待し交流を試みました。また、運動会、秋祭り、クリスマス会、豆まきなどを隣のグループホームと交流を図り思い出作りの一助になった。子どもに合った構成環境を模索しているところであり、小学校や地域との交流も少なく今後の課題である。

【主な行事】

	行事名
春	入園式、親子遠足、歯科健診、三日月山登山、懇談会、園外保育、夏野菜植え
夏	プール開き、七夕会、お楽しスイカ割り、お店屋さんごっこ
秋	マリンワールド探検、交通教室、運動会、科学館 秋祭り保育参加・ワークショップ、芋ほり遠足
冬	クリスマス会、行事食、節分、ひな祭り、保育参観・参加、試食会 観劇会、お別れ遠足、年長児茶話会給食試食会、卒園式
通年	畑で野菜づくり、お誕生日のお祝い

3. 職員研修

自園での職員研修は2回程。同法人内の保育園で実施された研修に参加することで「人権に配慮し子ども一人ひとりの人格を尊重する」という保育理念を職員全体に周知することができました。他園の保育を参観したり、運動会などを見学したりしながら保育の一助にしていって。 ※福岡市や保育協会の職員研修に多数参加した。

【主な研修】

	研修名		研修名
4月	新人研修	10月	研修会
5月	新規採用職員研修 さぼーと保育研修	11月	保育者育成研修会
6月	支援者研修	12月	乳幼児研修
7月	主任研修 保育研修会	1月	研修会
8月	東部慮育センター研修	2月	保育を学ぶ 保育研修
9月	人権研修	3月	主任研修会

※その他、大池保育園・愛宕保育園等の参観研修に参加。キャリアアップ研修にも積極的に受講する。

照葉けいあいホーム

1. 運営実績報告

令和7年度は、内・外部研修や委員会の充実、在宅診療・訪問看護事業所と連携により、看取りや入居者の状態に応じた介護を徹底することができました。ただし、空室が目立ち稼働を大きく落とす結果となりました。法人内の在宅サービス事業所と連携し、委員会や会議を開催。入居促進、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を職員全員で取り組みました。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和5年度	令和6年度	令和7年度
グループホーム	18名	72.6%	98.5%	89.4%

2. 安全衛生管理状況

リスクマネジメント委員会や感染予防対策委員会において、事故の検証、感染症に対する予防対策などを徹底し、全体的には事故件数が減りました。しかし誤薬については増えており、唯一「0」に出来る事故にて、改めて対策をおこなっております。

【行政への事故報告件数】※コロナ等の感染についても報告する必要あり

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度
転倒・転落・接触	0件	2件	0件
誤薬・誤嚥・異食	8件	1件	5件
打撲・皮膚剥離	2件	0件	0件
食中毒・感染症	0件	11件	0件
その他	0件	0件	0件
合計	10件	14件	5件

3. 職員研修

新型コロナウイルス等の感染症に留意しながら、外部研修の積極的な参加、在宅サービス事業所にて委員会を行い、会議にて資料を基に内部研修を行いました。

【主な研修】

	研修名		研修名
4月	GH理念に沿った考え方について	10月	認知症症状に対する支援について
5月	身体拘束について	11月	権利擁護について
6月	火災・災害等の対応について	12月	夜間急変時の対応に関する研修
7月	感染症と対応について	1月	高齢者虐待防止関連法と虐待防止について
8月	事故防止と対策について・考え方	2月	看取りとはGHでの考え方
9月		3月	

4. 行事報告

福岡市や地域の様々なイベントに参加。グループホームにおいては、節分、敬老会などのレクリエーション、入居者一人ひとりに合わせた外出等の企画、季節の野菜を育てるなど、グループホームの特徴を活かした行事を実施しました。

【主な行事】

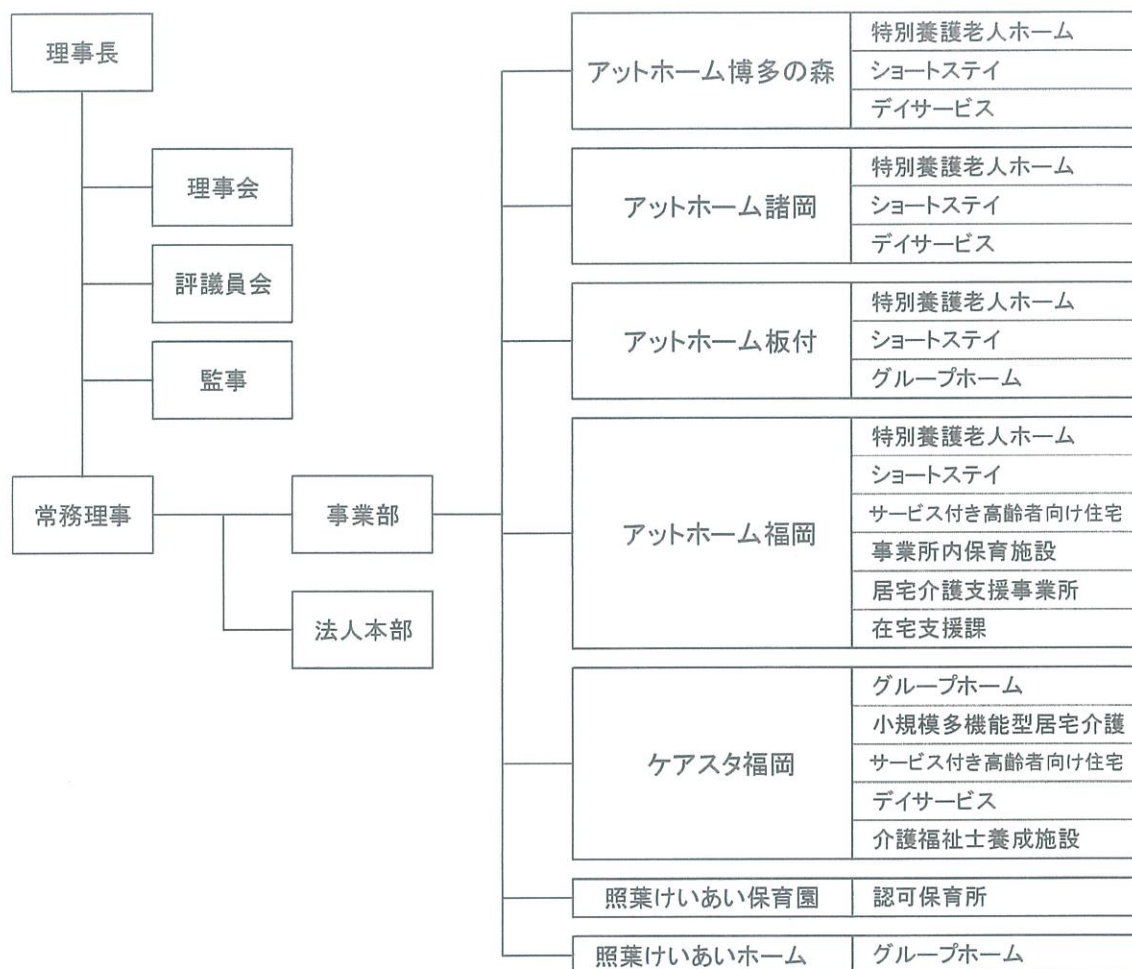
	行事名
春	節分、花見、苗植え、母の日
夏	父の日、七夕、園児とのスイカ割り
秋	敬老会、コスモス散策、保育園秋祭り・保育園運動会参加
冬	クリスマス会、新年会、初詣
通年	誕生日会、季節毎の行事食

5. 地域貢献活動

福岡市主催の様々なイベント等へ積極的に参加し、交流を図ってきました。高齢化率が低い地域であるため、地域包括支援センターとの連携を軸に、貢献できるよう、地域のイベント等へ参加したいと思っています。

III 組織図

令和8年3月31日現在



【サービス・定員数】

施設名	サービス・定員数 (○印は定員なし)								
	特養	SS	DS	居宅支援	GH	小多機	サ高住	保育園	専門学校
アットホーム博多の森	99	27	18						
アットホーム諸岡	80	10	10						
アットホーム板付	29	11			9				
アットホーム福岡	100	18		○			35	19	
ケアスタ福岡			45		18	29	11		80
照葉けいあい保育園								130	
照葉けいあいホーム					18				
合計	308	66	73		45	29	46	149	80

【職員数】

施設名	介護職員			保育士			その他職種			合計
	常勤	非常勤	小計	常勤	非常勤	小計	常勤	非常勤	小計	
アットホーム博多の森	50	1	51			0	16	3	19	70
アットホーム諸岡	41	2	43			0	13	8	21	64
アットホーム板付	24		24			0	4		4	28
アットホーム福岡	45	2	47	7		7	17	9	26	80
ケアスタ福岡	33	8	41			0	12	4	16	57
照葉けいあい保育園			0	23	8	31	5	2	7	38
照葉けいあいホーム	14	2	16			0			0	16
法人本部(出向職員含む)			0			0	8		8	8
合計	207	15	222	30	8	38	75	26	101	361

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人敬愛園
理事長 益田康弘